

GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト(学校設置者向け)

No.	質問項目	具体のイメージ、期待される効果等	チェック欄			
教育委員会所管の業務のデジタル化						
1	教育委員会主催の研修をハイブリッド(対面・オンライン)で実施していますか。	オンライン参加可能とすることで、場所を選ばず参加が可能となり、教員の働き方改革につながる事が期待できる。	全くしていない	一部している (半分未満)	一部している (半分以上)	完全にハイブリット化している
2	教育委員会主催の研修で端末利用・持ち込みを基本とし、クラウドサービスを活用していますか。	Wi-Fi環境がある会場において、端末利用・持ち込みを基本とした研修を実施することで研修中に疑問点を調べたり、意見交換に汎用クラウドツール(例:チャット、付箋ソフト)や共同編集機能等を活用し、子供の学びと相似形の研修を実現することが可能となり、参加率及び研修効果の向上が期待できる。	活用していない	活用している	-	-
3	教育委員会主催の研修について、オンデマンド視聴を取り入れていますか。	研修動画のアーカイブ化により、各々の都合の良いタイミング・場所で受講可能とすることで、より多くの教職員に研修機会を提供できるとともに働き方改革につながる事が期待できる。	取り入っていない	取り入れている	-	-
4	教育委員会主催の研修について、資料をクラウド上にアップロードしいつでも参照できる環境としていますか。	研修資料のアーカイブ化により、各々の都合の良いタイミング・場所で参照可能とすることで、参加率の向上が期待できる。	全くしていない	一部している (半分未満)	一部している (半分以上)	全て参照できる環境としている
5	教育委員会主催の研修アンケート等をクラウドサービスを用いて実施・集計していますか。	汎用のクラウドツール等を利用し、研修アンケートをデジタル化することで印刷コストや印刷・配布・回収・集計にかかる時間が省かれ、リアルタイム集計や他者参照を可能にすることで、作業の効率化と研修効果の向上が期待できる。	全くしていない	一部している (半分未満)	一部している (半分以上)	完全にデジタル化している
6	学校との各種事務手続きをペーパーレス化していますか。	休暇申請、出張申請、出張復命、テレワーク申請、副業申請等各種事務手続きのペーパーレス化を徹底することにより、提出・集計・保存が格段に効率化し、セキュリティ強化につながることも教職員の負担軽減が期待できる。	全くしていない	一部している (半分未満)	一部している (半分以上)	完全にペーパーレス化している
7	教育委員会が学校に発信する通知や調査をクラウドサービス等を用いて共有、実施、集計していますか。	学校宛の通知等の発出に汎用クラウドツール等を活用することにより学校への情報共有が確実化し、印刷コストや学校内で印刷・配布にかかる手間が省ける上、調査をデジタル化することで学校の回答・提出にかかる手間も省かれ、リアルタイム集計や他者参照が可能となり、作業の効率化を通じた教職員の負担軽減が期待できる。	全くしていない	一部している (半分未満)	一部している (半分以上)	完全にデジタル化している
8	教育委員会から学校及び教職員へのお知らせや相互の情報共有等をクラウドサービスを用いて行っていますか。	汎用クラウドツール等を活用して学校や教職員へのお知らせの一斉配信や教育委員会と学校間の情報共有を行うことにより、教職員との情報共有が迅速化且つ円滑化する上、印刷コストや学校が印刷・配布にかかる時間や手間も省け、教職員の負担軽減が期待できる。	全く行っていない	一部行っている (半分未満)	一部行っている (半分以上)	完全にデジタル化している
9	教育委員会の指導主事にGIGA端末を支給していますか。	指導主事も学校現場の教員と同じGIGA端末を持つことにより、GIGA端末を活用した授業について指導助言しやすくなる事が期待できる。	支給されていない	支給されている	-	-
10	教育委員会に学校と同様のクラウド環境を整備していますか。	学校との連絡や業務のやり取りにおいて、学校内での業務同様に、チャットやwebアンケートフォームなどのクラウドツールが利用できることにより、学校及び教育委員会での働き方改革と業務の効率化が期待できる。	整備されていない	整備されている	-	-
11	教職員に外部ともやり取り可能な校務用の個人メールアドレスを付与していますか。	個々にメールアドレスを付与することは学校外では常識。学校アカウントなどにまとめると教頭など管理職の業務負担が不必要に増えたり、迅速な対応が困難となる。これらを回避することは働き方改革と業務の効率化に資することが期待できる。	付与していない	付与している	-	-
12	教職員が校務用の端末を校外においてクラウドベースで使用できる環境を整えていますか。	セキュリティ対策を前提として、学校外において校務用の端末をクラウド利用することで、校務のロケーションフリー化により、働き方の選択肢を増やし、安全かつ働きやすい環境を実現することが期待できる。	整えていない	整えている	-	-
13	クラウド環境を校外で使用した際の適切な勤怠管理・勤務時間管理の仕組みを整えていますか。	アクセスログ管理等の仕組みにより実際の労働時間を正確に把握することで、校務のロケーションフリー化と適切な労務管理が可能となり、業務効率の向上と健康管理の両立が期待できる。	整えていない	整えている	-	-

No.	質問項目	具体のイメージ、期待される効果等	チェック欄			
次世代の校務デジタル化に向けた環境整備						
14	統合型校務支援システムを導入していますか。	※「統合型校務支援システム」とは、教務系(成績処理、出欠管理、時数管理等)、保健系(健康診断票、保健室入室管理)、学籍系(指導要録等)、学校事務系などを統合した機能を有しているシステムのこと	導入していない	導入している	-	-
15	校務支援システムの導入又は次期更改において、ネットワーク統合と汎用のクラウドツールの活用を前提とした、パブリッククラウド上で運用できる次世代型校務支援システムの導入を検討していますか。	ネットワーク統合と汎用のクラウドツールの活用を前提とした、パブリッククラウド上で運用できる校務支援システムを導入することにより、校務における働き方改革と業務の効率化が期待できる。 【参考】「GIGAスクール構想の下での校務DXについて」(https://www.mext.go.jp/content/20230308-mxt_jogai01-000027984_001.pdf)	検討していない	導入時期は未定だが検討している	具体的な導入時期を設定している	導入済み
その他						
16	自治体の文書管理規程等で、教育に関わる公文書のデジタル化に関する規程を定めていますか。	指導要録、出席簿、健康診断票等の各種公文書や台帳等におけるデジタル化に関する規程を自治体で定めることで、デジタル化の推進を図ることができるとともに、適切な文書管理を行うことが期待できる。	定めていない	定めている	-	-
17	学校や教職員からフィルタリングに関する要望があったときに柔軟に反映する仕組みや体制を整えていますか。(学校に、一部フィルタリング設定の裁量権を与えている場合も含む)	現場の要望に柔軟に対応できる体制を整えることで、GIGA端末(児童生徒用・指導用)から必要な情報が掲載されているwebページや動画サイトにアクセスできないなどの過度なフィルタリングを防ぎ、適切な水準のフィルタリング設定を行え、GIGA端末を活用した円滑な学習機会の提供が期待できる。	整えていない	整えている	-	-
18	自治体のセキュリティポリシーとは別に、教育情報セキュリティポリシーを教育委員会独自に策定していますか。	教育現場特有の事情を踏まえた情報資産の守り方を定める「教育情報セキュリティポリシー」を自治体の情報セキュリティポリシーとは別に定める必要がある。クラウド活用を前提としたGIGAスクール構想に相応しいセキュリティレベルの確保により、データ利活用や個別最適な学び等、新たな時代に相応しい教育DXの基盤を構築することが期待できる。	策定していない	策定していないが自治体ポリシーを準用している	策定している	-
18-2	(策定していない、策定していないが自治体ポリシーを準用の場合)今後、教育情報セキュリティポリシーを教育委員会独自に策定する予定はありますか。	-	策定する予定はない	来年度以降に策定予定	文科省の次回改訂時に合わせて策定予定	今年度中に策定予定
18-3	(策定していない、策定していないが自治体ポリシーを準用の場合)教育情報セキュリティポリシー策定を妨げている要因を教えてください。(選択式)	-	(選択肢: 独自策定する必要性を感じていない/独自策定するための知識・経験が不足/独自策定を外部委託するための予算化に課題/ポリシーだけでなく実施手順の策定も難しい/ガイドラインの解釈が難しい/独自策定のための人的余裕がない/その他(自由記述))			